令和7･8年度の　主要事業をチェック

総務建設委員会

６月30日、所管事務調査の一環として本委員会を開催し、町執行部（総務部･住民生活部･建設農林部）から「令和７年度主要事業の実績」、「令和８年度主要事業計画」について説明を受け、質疑を行いました。

また、本委員会の今年度活動計画の策定と重点調査項目を決定しました。



所管する事業が適正に計画通り実施されているか確認しました。

重点調査項目

本年９月23日にオープンした筆の里工房・創作館に続き、公園内に今年度末に完成予定の大型遊具整備事業など令和９年度完了予定の「筆の里工房周辺整備事業（筆の里創造の丘公苑）」と人口減少時代のなか本町が取り組むべき「移住・定住対策」を今年度の重点調査項目に決定しました。

町執行部への政策提言に向け、今後、現地調査、先進地調査等の活動を行います。



筆の里工房・創作館

所管事務調査とは・・・

地方自治法第109条に基づき、議会の常任委員会などが所管する部内の事務事業について、自主的にテーマを設定して調査・研究を行う仕組みです。

町執行部から提出された議案の審議結果だけでなく、こうした委員会による調査の成果や経過を「所管事務調査報告」として『くまの議会だより』などで住民の皆様に周知してまいります。



プロポーザル提案時点の大型遊具完成イメージ

文教福祉委員会

７月２日に令和７年度主要事業の実施状況と、令和８年度主要事業の計画とその概要等について健康福祉部並びに、教育委員会から報告を受けた後質疑を行いました。また、重点調査項目と年間活動計画を決定しました。

主な質疑

Q 生活保護を受ける傾向が高い独居老人、高齢者世帯の現状は。

A 生活保護受給世帯のうち高齢者世帯は、33％程度となっている。

Q 介護保険の被保険者数は減少傾向であるが事業費は増加している。その要因は。

A 高齢者人口はピークを迎えている。認定率が微増で、介護サービスを受ける人が増加しているため事業費が増加している。



▲文教福祉委員会の様子

Q ５才児健診は医師確保が難しいと聞くが、９月から開始できる体制は整っているか。

A 健診医の確保はできた。また、健診に必要な専門職である心理職、保健師、保育士、栄養士も確保できた。健診後のフォロー体制を検討しているところで、９月から開始する。

Q 町立中学校体育館空調設備整備事業の工期が令和９年２月となっている。空調設備、エアコンはもっと早く完成できないか。

A 工期は令和９年２月末となっているが、できるだけ年内に終わらせるよう調整している。

Q 部活動の地域移行及び地域展開には良い点悪い点がある。教員の働き方改革を含めどのように考えているか。

A 先ずは現状を把握し、可能な部から取組を進めていこうと考えている。国の動向を注視しながらガイドラインの作成等を行っていきたいと考えている。本町の現況は、子どもの数の推計等をみても、当面部活動の継続は可能である。東中学校陸上部が全国大会にも出場するなど、生徒たちは頑張っている。課題点として、外部指導者との指導感の違いが発生しないか懸念している。一番大切なのは、子どもたちが部活動を通じ、確かな成長を図ることである。引き続き、よりよい形を模索して行く。

今年度の活動計画

次の重点調査項目を中心に調査・研究を行い、政策提言を目標に委員会を運営していきます。

1. 部活動の地域展開の取組みについて　2. 認知症対策について

